

おじいちゃん、おばあちゃん
いつもありがとう！これからも元気でいてね！！
各保育園で行った「敬老の日」にまつわる
催しの様子をおつたえします！

源氏前保育園

例年は交流会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でここ数年、開催が難しくなっています。そこで、1週間を通して子どもたちと祖父母の皆様が安全に楽しく関わって頂ける機会を「お迎え週間」と題して設けることにしました。
お迎え週間期間中(9/12~9/16)は1階ホールで子どもたちとおじいちゃん、おばあちゃんとの写真撮影会を行います。撮った写真は1階、2階の廊下に写真館のように掲示して子ども達やお迎えにいらした保護者の方に見ていただけるようにします。
ご参加いただいた祖父母の方には年長児が和紙を染めて作った『マスクケース』をプレゼントしました。
(文責：源氏前保育園副園長 佐野 珠美)



西中延保育園

コロナ流行前は祖父母の方と保育園で触れ合ったり、町会の方をお招きして交流していました。3年前からは交流ができないため敬老の日になんだ話を子どもたちに行っています。
パネルを使って、“おじいちゃん”“おばあちゃん”がいてくれたから自分が今ここにいるということや、お父さんお母さんにも親がいるという話をしました。年長児は「パパやママのお父さんがおじいちゃんなの？」と興味を持って聞いていました。(文責：西中延保育園園長 松本 麻里)



東中延保育園

東中延保育園では、例年、敬老の日に因んで祖父母の方をお招きし『どんぐり会』を行っています。コロナ禍になってからは開催できていませんが、園児と祖父母の方との繋がりがもてるように子ども達の作品をプレゼントしています。今年は5歳児クラスの園児が絵具で吹き絵や型押しをしてコースターを作りました。「おじいちゃんおばあちゃんげんきでね」「いつもありがとう」の気持ちを作品に込め作っていました。子ども達の思いはきっと届いたと思います。どんぐり会の取組みを通し祖父母の方と触れ合い、家族の絆が深まる機会になればと願っています。(文責：東中延保育園園長 後藤 伸子)



富士見台保育園

敬老の日に向けて墨と小筆を使って、祖父母の方に絵はがきを作りました。絵はがきの素材は柿、栗、梨、ぶどうなどの秋の果物やサツマイモ、なすなどの秋の野菜を見て写していました。
保護者の方から葉書を預かると「これは〇〇のおばあちゃん」「こっちは〇〇のおじいちゃん」と祖父母の名前や住んでいる地名を言い大切に描き、当日に自分の絵はがきを持ってポストに行き、「届きますように」と言い投函しました。
届いた祖父母の方から喜びの声もいただきました。(文責：富士見台保育園 石原 有紀)



上神明小学校でぶどうを収穫しました！！

9月3日(土)上神明小学校でぶどう狩りが行われました。3年前までは学校支援地域本部を中心にぶどう祭りを開催していたのですが、未だ収束しないコロナ感染拡大のため、やむなく今年も中止となってしまいました。ぶどう狩りは1年生から順番に全学年で行いました。生まれて初めてぶどう狩りを体験した児童も多く、学校支援地域本部の方々や先生に手伝ってもらい、収穫を楽しんでいました。面白いことに高学年になるにつれ、どのぶどうを収穫するか選り好みをするようになり、時間がかかっていたようでした。
バーチャルな体験が増える今の時代に、実際に体験することができる良い機会になったと思います。(文責：上神明小学校地域コーディネーター 小宮 明美)



☆親子レク☆

ぶどう狩り&こもれび森のイバライド

青少年対策荏原第四地区委員会による親子レクが10月2日(日)に開催され、3年ぶりのバスハイクが行われました。新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催でしたが、当日は見事な晴天に恵まれ、参加された皆さんも楽しんでいました。
最初に向かった「岡野果樹園」ではぶどう狩りを行いました。お子さんが1人で頑張ってぶどうを取ったり、取ったぶどうを美味しく食べている姿などが見られました。
次に向かった「こもれび森のイバライド」では昼食バイキングで様々な料理を楽しんでいました。昼食後は自然の中でのアクティビティや動物たちとの触れ合いなど、皆さん思い思いに楽しんでいました。(文責：青少年対策荏原第四地区委員会 事務局)



老いを楽しむ～「ありがとう」は自律神経を整える～

昨今、心と身体の神経系のバランスが取れずに自律神経失調症に悩む方も多いと思います。気持ちを落ち着かせて好きな音楽を聴いたり、適度に身体を動かしてお風呂にゆっくりとつかる・・・このようなやり方で上手く交感神経のバランスをとっている方は素晴らしいです。
ただ意識して穏やかにゆったりとした日々を送ろうとしてもなかなか上手くいかないことはありますよね。一日の出来事の中で、何か一つのこと「心から感謝する」ということを毎日続けることはできますか？
「〇〇さんありがとう」「ご飯を作ってくれてありがとう」「ありがとう」と言ってくれてありがとう」ほんのちょっとしたことを嬉しい出来事として留めておけると、心の和みになると思います。
日々の雑渡の中でも穏健に過ごすための、何かのヒントになればと思います。(文責：地域だより編集委員 石井 典子)



第39回小学生マラソン大会 実施のお知らせ

開催日：令和5年3月5日(日)
午前9時～午後1時
参加資格等詳細については、品川区ホームページ、荏原第四地区SNSをご確認ください。品川区ホームページ↓



「えばよん」地域だよりに掲載する記事を募集します！

いつも、えばよん地域だよりをお読みいただきありがとうございます。この度、地域だよりをより良いものにするために、皆さまより意見をいただく運びとなりました。「紙面にこれを載せたい!」、「この情報を知りたい!」など要望を自由にお寄せください。
ご意見や掲載情報案については、右記のQRコードを読み込み、送付をお願いします。いただきました内容を3月発行号より反映いたします。お気軽に応募ください!



投稿川柳	☆満足	☆備える
	欲張りは いつになっても 不満足(邦)	水害に 備え飲み水 溜めておく(水)
	ほろ酔いで 気分満足 夢世界(悦)	皮下脂肪 食糧危機へ 今厚く(健)
金無いが 五体満足 まあいいか(公)	飼猫は 明日に備えて 爪を研ぐ(美)	